



安まち通信

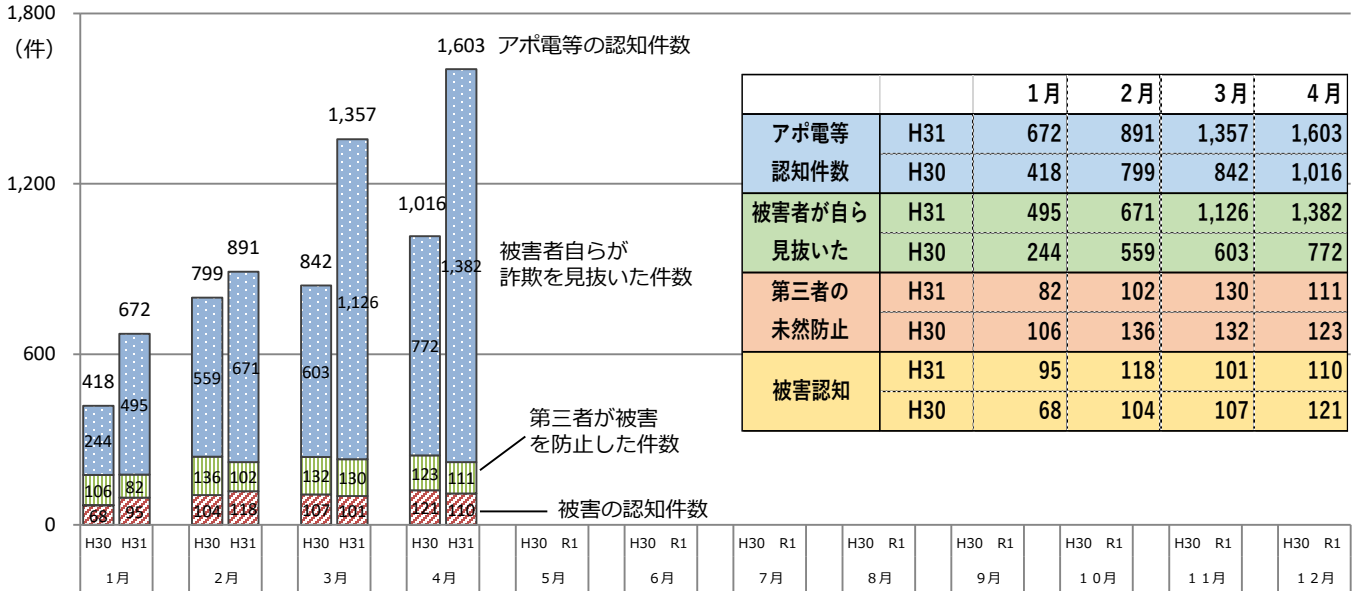


令和元年 6月12日
大阪府安全なまちづくり推進会議
第 7 号

大阪府内の特殊詐欺認知状況【4月末】

アポ電等の認知件数

※ アポ電等とは、特殊詐欺の犯人が発信したと思われる電話、メール（SMS）、葉書（封書）のことです。



		1月	2月	3月	4月
アポ電等 認知件数	H31	672	891	1,357	1,603
	H30	418	799	842	1,016
被害者が自ら 見抜いた	H31	495	671	1,126	1,382
	H30	244	559	603	772
第三者の 未然防止	H31	82	102	130	111
	H30	106	136	132	123
被害認知	H31	95	118	101	110
	H30	68	104	107	121

- アポ電等の認知件数は4月末現在において4,523件で、昨年より1,449件増えています。また、そのうち約82%(3,674件)は被害者自らが詐欺と気づき、約9%(425件)は家族、金融機関、コンビニなどの第三者が被害を防いでおり、被害として認知されているのは約9%(424件)です。

特殊詐欺の被害認知状況

特殊詐欺の認知件数と被害金額

	H31 4月末	H30 4月末	増減
認知件数	424	399	+25
被害金額(千円)	738,167	1,138,298	-400,131

【4月中に認知件数が多かった手口】

- 1 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをだまし取る手口
 - 2 有料サイト管理者やアマゾン、楽天などの実在企業を騙り、「利用料金の確認が取れない」とのショートメッセージを送りつけ、電子マネーを買わせる手口
 - 3 息子や孫などを騙り、現金をだまし取る手口
- ※ 認知件数の多い順

キャッシュカードすり替え窃盗の被害認知状況

キャッシュカードすり替え窃盗の認知件数と被害金額

	H31 4月末	H30 4月末	増減
認知件数	89	49	+40
被害金額(千円)	103,446	55,773	+47,673

【4月中に認知件数が多かった手口】

- 1 警察官・金融庁などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口
 - 2 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口
- ※ 認知件数の多い順

- 4月末現在、特殊詐欺の認知件数は依然として昨年を上回っており(+25件)、キャッシュカードをすり替えて盗む窃盗も増加(+40件)しています。
- 手口別で見ると、警察や役所等を騙って電話をかけ、高齢者の自宅を訪問してキャッシュカードをだまし取る(すり替えて盗む)手口が多くを占めています。
- SMSで架空の有料サイトの未納料金の支払いを求め、電子マネーを購入させる手口の被害が4月に急増しました。老若男女問わず被害に遭っている状況ですので、年齢・性別に関係なく幅広い層に対する広報啓発が必要です。
- 息子を騙って現金をだまし取る手口も依然発生しています。最近では女の犯人が娘を騙るアポ電も増えています。